

岡部病院の「いま」を伝える広報誌



医療法人社団 廣徳会

岡部病院

菜の花

n a n o h a n a

令和4年
創刊35号

臨床研究発表会 ...P1・2

特別講演『自分を信じ 人を認めましょう』
柴戸麻里氏

Dr通信 ...P3・4

2022年度入社式・研修 ...P5

新型コロナウイルス対策の
取り組みについて ...P6

栄養コラム ...P6

輝けニューフェイス ...P7~10

イメージキャラクター
デレクくん



日本医療機能評価機構

第23回 臨床研究発表会

令和4年7月2日(土)ホテルニューオータニ博多にて第23回臨床研究発表会を開催いたしました。今回は、初めてホテル会場での開催であり、これまで以上に緊張感がある中での発表となりました。臨床研究発表会準備委員会を中心に準備を進め、当日は感染対策として、マスク着用、当日の体調確認、手指消毒、マイク等使用物品の消毒を徹底し、実施しました。

特別講演

『自分を信じ 人を認めましょう』



特別講演として美乃教育研究所 所長の柴戸麻里先生をお招きし、「自分を信じ 人を認めましょう」と題して、ご講演いただきました。講演では、私たち医療職が来院される皆さまに満足していただける対応が出来るよう、どのようなことに配慮・意識して接するべきか、また「自分を信じ 人を認める」にはどのようにしたらよいか、ペアワークを通して教えて頂きました。ペアワークでは、実際に相手のいいところを探し、伝え、褒め合うというものでした。褒められる気持ちを体験することで褒めること・言葉にして伝えることの大切さ、相手の心に届けるすばらしさを実感できました。

講師 紹介



美乃教育研究所 所長 柴戸麻里氏

社会人教育インストラクターとして官公庁、企業、九州各県、関東の病院にて、新入職員から管理職まで幅広く研修に携わる。また、九州各県の医療看護学校にて「ビジネス実務」「社会学」「接遇」「マナー教育」「ホスピタリティ論」の授業を担当

講演内容

目と耳と心で話を「聴く」

「聴く」という漢字には十分に四方へ目と耳と心で聴くという意味がある。来院される方の中には、診察のみではなく話を聴いてほしい、特に1人暮らしの高齢者であれば話し相手になってほしいと思われ来院される方も多い。ある集計では、入院患者さま、外来患者さまが病院職員に望むこととして、1・2位が「親近感」・「話をよく聴いてくれること」である。

患者さまが病院に来て心の内をはなし、信頼関係が構築できれば「ホッとできる病院」「また来たい病院」と思ってもらえる。

紙風船のような丸い心で

日常生活の中では様々な出来事があるが、同じ出来事に対して「受けとめ方」は人それぞれ違う。紙風船のような丸い心で受けとめることで、その出来事に対する感情や対応にも大きく影響してい

く。上手いかわないことがあれば、受けとめ方がどうだったか振り返ると、原因が自分である可能性に気付くことができる。日々の振り返りで自分を見つめ直し、自分と対話することが大切である。



一般演題

式次第

- 1.開会の辞 看護部副部長/世利直美
- 2.医療看護部2階病棟 「新型コロナウイルス陽性患者の基礎疾患とワクチンの関連について」
- 3.給食栄養科 「魚を軟らかくするには」
- 4.検査科 「当院における発熱外来の有用性」
- 5.放射線科 「CT被ばく線量低減の取り組みと評価」
- 6.透析室 「透析室の感染対策-新型コロナを経験して感染対策の振り返り」
- 7.特別講演 講師 美乃教育研究所所長/柴戸麻里氏「自分を信じ 人を認めましょう」
- 8.閉会の辞 臨床研究発表会準備委員会委員長/日野桃子

一般演題の発表は、「医療看護部2階病棟」、「給食栄養科」、「検査科」、「放射線科」、「透析室」の5部署より行いました。発表内容として、「**医療看護部2階病棟**」からは、病棟において発生した新型コロナウイルス陽性者について、基礎疾患の有無とコロナワクチンの接種回数により症状が消失するまでの差があるのかという調査報告が行われました。



「**給食栄養科**」からは、魚の焼き物の残食が多い原因として、魚の硬さが関係していると考え、魚を軟らかく提供するために4つの方法と従来の方法を比較したアンケートの調査報告が行われました。

「**検査科**」からは、新型コロナウイルス感染症流行後に発熱外来を設置し、発熱等の有症状患者の対応をしていること

から、PCR検査を行い陰性だった患者の血液検査やCT検査の結果より肺炎に罹患している方の調査報告が行われました。

「**放射線科**」からは、医療法施行規則の改正において診療用放射線の安全管理体制を整備することが求められるようになったため、当院ではCT検査の線量記録を実施し、その記録をもとに最適化の評価を行い、医療被ばく線量の低減につなげたことについての報告が行われました。

「**透析室**」からは、高齢者や透析患者にとって感染症とは生命の危機を招く重要な疾患であり、日常的に感染対策を行わなければならないため、透析患者さ

まの新型コロナウイルス発生時透析治療を行った感染対策の事例報告が行われました。

5演題中、3演題が新型コロナウイルス関連の研究であり、今をあらわす発表で

した。各部署からは、日々の業務に対する質の向上を目指す意欲が感じられました。また、研究発表の目的や考察・結果を誰が見ても分かりやすいよう、発表内容を工夫しており、資料も短時間で理解しやすいようにまとめられていました。参加した職員も今回の発表からできるだけ多くのことを吸収しようと、要点や各自の感想をまとめられるように熱心にメモを取りながら聴き、発表後も盛んに質疑応答が行われました。今回の臨床研究発表会を通して学んだことを活かし、これからも患者さま、ご家族さまによりよい医療を提供できるよう精進して参ります。





新型コロナウイルス感染症 正しく恐れ 日常を取り戻そう

新型コロナウイルス感染症が判明してから3年目に入りました。この2年で、私たちの生活様式が激変しました。会社はリモートワークが進みました。学生たちはオンライン授業となり、新しい友人も作れず卒業していきます。飲食店は外出自粛のため売り上げが激減し、苦境に立たされています。

速やかな終息が期待された新型コロナウイルスですが、まだまだ終息が見通せない今、「新型コロナウイルスと共存していく」WITH(ウィズ)コロナという考え方が重要です。WITHコロナ禍を生き抜くには、まず敵(新型コロナウイルス)の特徴を知ることが重要です。



院長／中嶋 保則

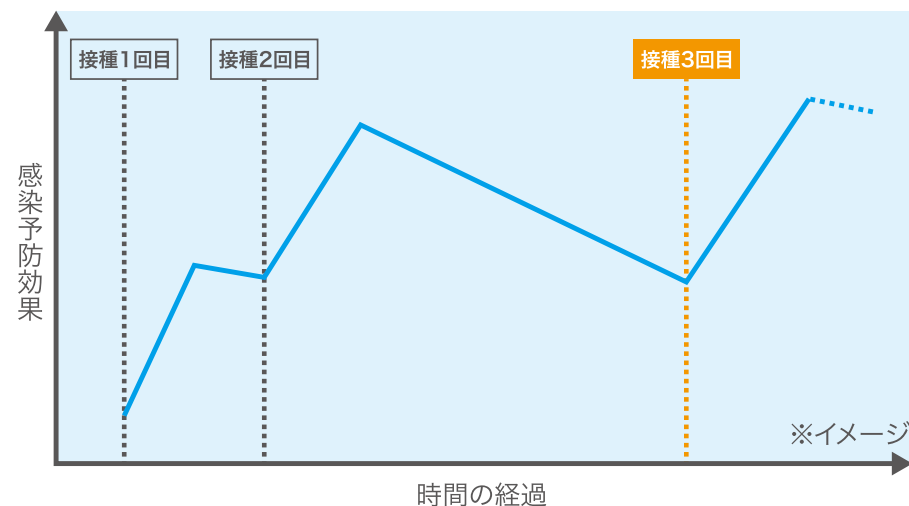
医学博士、日本麻酔科学会専門医、
日本ペインクリニック学会認定医

Q1

**新型コロナウイルスワクチンを接種すれば
新型コロナウイルス感染症を防ぐことができますか？**

A1

新型コロナウイルスワクチン(以下ワクチン)を打てば、抗体が増加します。抗体は、敵(ウイルス)が体内(細胞内)に侵入するのを防ごうとする防衛軍の兵士です。兵士の数はワクチン1回接種では不十分で、2回接種で十分な数になると言われます。3回接種では兵士が接種前の50倍になります。この兵士が多いときは、敵の侵入を防ぎ、感染を防ぐことが期待できます。実際、3回接種を終えた高齢者の感染率が減少しています。しかし、3か月もすると兵士の数は半分(3回接種前の25倍)に減少します。こうなると、感染防止効果は全くなくなるわけではありませんが、減少する恐れがあります。そのため、4回目、5回目と定期的に接種を行う必要があります。日本でも議論中です。



ワクチンの接種回数と感染予防効果のイメージ

Q2

**感染防止効果が100%でない
なら、ワクチンは接種する意味が
ありますか？**

A2

体内に敵が侵入し感染すると、それ以上の敵の侵入を防ごうと、体内で兵士を作ろうとします。ワクチン未接種の人では、どのような材料でどのような形の兵士を作ればよいかの設計図がないため、兵士を作るのに大変時間がかかります。その間に、敵はどんどん侵入し、高熱・呼吸困難など重篤な症状が出現します。命の危険もあるため、入院加療が必要となり、死亡率が上がります。一方、ワクチン接種をしていると、ある程度の兵士が体内におり、しかも兵士を作るための設計図もあるため、感染しても速やかに兵士を量産し、敵の侵入を少なくさせることができます。そのおかげで、症状は軽くて済み、入院の必要性は減り、死亡率も下がります。第6波以降、病床使用率や重症者数が少ないのはワクチン接種率が特に高齢者で増えているおかげです。つまり、ワクチン接種は感染を完全に防止できなくても、感染者の重症化を防ぐことができるので意味があります。

Q3

**新型コロナウイルスに
感染しないためには
どうしたらいいですか？**

A3

ウイルスの侵入経路には①エアロゾル(微細粒子)感染、②飛沫感染(会話・くしゃみ・咳)、③接触感染の3つがあります。②はマスクをして、話をしている人と2m以上空ければ大丈夫です。③は手洗い・消毒で十分です。現在、①が感染の主な原因と考えられています。エアロゾルは空气中を長時間浮遊するため、隙間のあるような不適切なマスク装着では体内に侵入します。そこで、重要なのは室内での空気の流れを作り、エアロゾルを屋外へ排出させ、浮遊するウイルスを減らす事です。効率的な排出には部屋の対角線上の窓を開けるのがよいとされています。危険な場面は家族以外と飲食中にマスクを外して会話をするときです。しかし、十分に換気された店(できれば個室)で、会話中は適切にマスクを装着することにより、感染リスクは少なくなり、飲食を楽しむことができます。



新型コロナウイルスを恐れるあまり、家に引きこもり、意欲低下でうつ状態になったり、筋力・体力低下をきたしたりしている高齢者がいます。屋外では、空気の流れもあり、ウイルスは問題となりません。人とすれ違う時にマスクをし、会話するときは2m離れるなど工夫すれば感染の心配はありません。是非、外を歩いたり、運動したりして、ストレスがたまらないようにしましょう。

WITHコロナの時代、新型コロナウイルスを正しく恐れ、対策することで、早く日常を取り戻していきたいものです。

(2022年4月現在の情報に基づくため、今後の情報にも注視してください)





2022年度 入社式・研修

令和4年4月、31名の新入職員が入職し、入社式を挙行了しました。今年は感染対策のため「宇美町地域交流センター多目的ホール」にて開催し、新入職員による決意表明、理事長の訓示を行いました。新入職員は期待と不安の入り混じる中、真剣な面持ちで話を聞き、医療人

としての決意を新たにしました。当院では、新入職員を対象とした「入職時研修」を入社式に先駆け3月下旬より実施しています。この研修では不安なく社会人・医療人としてスタートを切れるように「ビジネスマナー」や「医療安全」「感染対策」等の内容で行いました。また、県外からの就職も多いため、宇美町のことを知ってもらおうと病院周辺の散策を行い、氏神様である宇美八幡宮も訪ねました。名物の「子安餅」を食べ、ご神木の大楠より神秘のパ

ワーをいただき、皆で新型コロナ感染症の終息を祈願いたしました。この研修期間で職種の垣根を超え、たくさんの新しい仲間をつくることができました。これからも共に学ぶことで切磋琢磨し、刺激を与え合い、医療人として少しずつ成長していければと考えています。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。



新型コロナウイルス対策の 取り組みについて

新型コロナウイルス感染症の猛威は、未だ衰えず高止まりの状況が続いており、引き続き感染対策が求められている状況です。当院の取り組みをご報告いたします。

環境整備

病院の「環境」はとても複雑で、モノ・ヒト・病原体が複雑に絡み合い、その病院特有の環境を作り出します。環境整備を行う事で、医療関連感染を抑止することができ、患者さまや医療従事者の安心・安全につながります。当院では、外来・病棟問わず全部署において時間を決めて高頻度接触面を中心に環境整備に取り組んでいます。

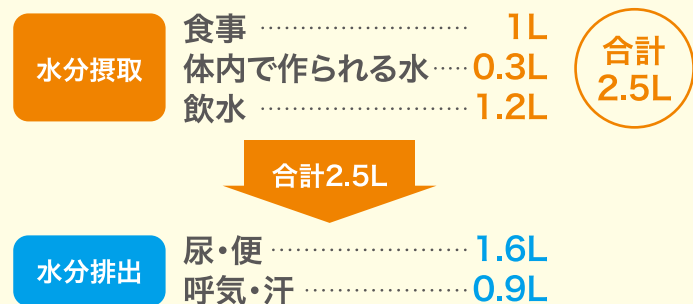


岡部病院の職員は、医療従事者として患者さま、そして自分自身を感染から守る義務があります。正しい知識を身につけ、正しい方法で環境整備を行い、より安心・安全な医療を提供できるよう日々努力し続けて参ります。

栄養コラム

今回は、夏を乗り切るための“正しい水分補給”についてご紹介します。私たちの体は、体重の約60%が水分で、そのうちの2.5Lが1日に入出力しています。

水分の入出力を保つには、**食事から1Lと飲水から1.2L**の水分補給が必要です。正しい水分補給が出来ていないと体の水分量が不足し、のどの渇きや頭痛・めまいといった様々な体の不調を引き起こす原因にもなります。特に夏はたくさんの汗をかくことによって他の季節に比べ水分量が失われやすいため、熱中症や脱水症に注意しなければなりません。



食事からの水分補給のポイント

- 1 日3食とる
- 2 野菜を積極的にとる
- 3 1日1回汁物を取り入れる

暑い時期は食欲不振になりやすいため、日頃からバランスを考えて食事をとることが大切です。

飲水からの水分補給のポイント

- 1 こまめに飲む
- 2 水もしくはカフェイン含有量が少ない飲み物を飲む

のどの渇きを感じたときは、体の水分量が不足しているサインです。

起床時	朝食時	10時頃
昼食時	間食時	夕食時
入浴前後	就寝時	

上記の8つのタイミングで**コップ1杯の水**を飲むようにしましょう。

お酒やコーヒー・紅茶での水分補給は利尿作用があるため水分補給には向いていません。またジュースなどの糖分が高い飲み物の量にも気を付けましょう。水は一度にたくさん飲んでも排出されてしまい、蓄えられません。水を飲むタイミングを習慣付けることが大切です。

正しい水分補給方法で、健康な毎日を目指しましょう！



輝け ニュー フェイス

看護師

西田 陽

にしだ ひなた



趣味 ゲーム

特技 イラスト作成

地域に寄り添うことを大切にしている当院で、患者さまや職員と良い関係を築き、安心して仕事を任せて頂けるよう頑張りたいです。

看護師

植村 侑香

うえむら ゆか



趣味 テレビ鑑賞、ゲーム

特技 笑顔

患者さまに気軽に頼っていただけるような看護師になりたいと考えています。そのために何事も全力で取り組み、前向きにとらえ、出来ることを増やしていきます。

看護師

藤井 彩花

ふじい さやか



趣味 読書、体を動かすこと

特技 卓球

地域に根ざした岡部病院で、患者さまとご家族さまの心に寄り添った看護を目標に、1日でも早く知識や技術を習得できるよう努力していきます。

看護師

有富 真成

ありとみ まな



趣味 アウトドア

特技 ピアノ

スタッフと協働し、患者さま中心に物事を考え、ご家族さまの気持ちに寄り添えるような看護を提供し、人として尊敬されるような看護師になりたいです。

看護師

江藤 優花

えとう ゆうか



趣味 読書

特技 絵を描くこと

私は患者さまに寄り添い、安心・安全な看護を提供していきたいと考えています。そのために先輩から多くのことを学び、看護のスキル向上を目指し頑張りたいです。

看護師

柴尾 真美子

しばお まみこ



趣味 ジブリ・アニメをみること

特技 習字

知識や技術を日々習得し、患者さまの小さな変化に気づける観察力を身につけて、患者さまやご家族さまに寄り添った看護を提供したいです。

看護師

山本 彰奈

やまもと あきな



趣味 散歩

特技 裁縫

健康管理を徹底し、仕事を休みません。また、指導された事は素直に受け止め、自身の成長に繋がります。いつも笑顔で患者さまに元気を与えられるよう頑張ります。

看護師

小関 文菜

おげき ふみな



趣味 ゲーム

特技 なわとび

いつも笑顔で患者さまに親しまれる看護師を理想としています。どんな時も笑顔を忘れない看護師になりたいです。

看護師

伊藤 優花

いとう ゆうか



趣味 映画鑑賞

特技 料理

患者さまにとってよりよい看護が提供できるよう日々学びを深めながら、知識・技術を身に付けたいです。また、患者さまの思いを傾聴し寄り添える看護師を目指して頑張ります。

看護師

吉井 貴恵

よしき きえ



趣味 アメリカドラマ鑑賞

特技 料理

患者さま一人一人に優しく、笑顔で寄り添える看護師になりたいです。よろしくお願いいたします。

看護師

荒木 美里

あらき みさと



趣味 ドライブ

特技 眠ること

患者さま一人一人と向き合い、コミュニケーションを通してより深い看護を行っていききたいと思います。笑顔で一生懸命に頑張ります。

看護師

鳥居 希望

とりい のぞみ



趣味 ゲーム、散歩

特技 料理

岡部病院の職員の1人として地域に貢献できる看護師になりたいと思っています。そのためにできることを少しずつ増やしていきたいです。

看護師

竹屋 太一

たけや たいち



趣味 体を動かすこと

特技 運動全般

看護業務をいち早く覚え、患者さまやご家族さまに寄り添った看護が提供できるように努めます。

看護師

中山 未来

なかやま みく



趣味 料理

特技 鳥と意思疎通ができる

この宇美町で地域住民の皆さまが自分らしく生活していけるよう、その方の思いに寄り添い、安心できる看護を提供できるように努力していきます。

看護師

渡 桜瑚

わたり さくらこ



趣味 飼い犬と遊ぶこと

特技 薬が苦手な犬に上手く薬を飲ませること

患者さま・ご家族さまのことを第一に考え、思いやりのある看護が提供できるよう努力して参ります。よろしくお願いいたします。

看護師

伊藤 みずき

いとう みずき



趣味 食べること

特技 テニス

常に笑顔で患者さま・ご家族さまが話しかけやすい雰囲気を作り、信頼関係を築けるよう努力して参ります。

看護師

富永 早織

とみなが さおり



趣味 読書

特技 暗記

患者さまやご家族さまが安心して過ごせるよう、笑顔を忘れず思いやりの心を大切にし、その方に合わせた看護を提供できる看護師になれるよう努力して参ります。

看護師

田口 美涼

たぐち みすず



趣味 ドライブ、旅行

特技 料理

今まで長年にわたり先輩が培ってきた岡部病院の歴史と伝統を大切に、初心を忘れずに日々誠実に仕事に励みたいと思います。

看護師

山松 愛

やままつ まな



趣味 犬と遊ぶこと

特技 剣道

常に思いやりの心を大切に自分ができる最大限の看護を、笑顔と元氣と共にみなさんにお届けしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

看護師

山本 茜

やまもと あかね



趣味 おいしい食べ物巡り

特技 料理

日々、丁寧に業務に取り組む事が心がけています。患者さまやご家族さまを尊重した関わりが出来る看護師になれるよう、努力していきます。

介護士

田上 麗美

たがみ れいみ



趣味 音楽鑑賞

特技 写真を撮ること

どんなに忙しくても患者さまの側に寄り添い、優しく笑顔で一人一人と接していきたいです。一生懸命に努力して頑張りたいと思います。

介護士

渡辺 紗加

わたなべ さやか



趣味 ゲーム

特技 口笛

患者さまの些細な変化に気づき、個性をもった介護の提供を心掛け、印象に残るような介護士になりたいと思います。

栄養士

池上 麻衣子

いけがみ まいこ



趣味 買い物

特技 食べること

提供する食事を楽しみにしていただけるように、ただ作業をするのではなく召し上がる方のことを考えながら調理を行いたいです。

看護師

森田 留美

もりた るみ



趣味 カフェ巡り

特技 大食い

患者さま・ご家族さま・スタッフと関わる上で相手の思いを尊重し、向き合っていく気持ちを忘れることなく信頼関係を築いていきたいです。

准看護師

指方 梨沙

さしかた りさ



趣味 音楽鑑賞、映画鑑賞

特技 絵を描くこと

思いやりのある看護師を目指しています。患者さまに優しく親切に接することを大切に、心に寄り添った看護を提供していけるよう努力します。

准看護師

仲濱 有希子

なかはま あきこ



趣味 サーフスケート

特技 目覚ましなしで起きられる

患者さまが日々穏やかに安心して過ごせるよう心の通った看護を行います。どんな時でも笑顔を忘れず信頼関係を築いていけるように頑張ります。

医事・クラーク

中林 美智

なかばやし みさと



趣味 ショッピング、ドラマ鑑賞

特技 華道

周囲に気を配り、患者さまの気持ちを大切にできる医療人を目指します。また教わったことを確実に行っていきます。

医事・クラーク

渡邊 真由

わたなべ まゆ



趣味 音楽鑑賞

特技 笑い出したらとまらないこと

常に周りをみて行動し、自ら出来ることを考え、患者さま第一の対応をしていきます。安心感を与えられるように笑顔で明るい医療事務員を目指します。

医事・クラーク

井上 鈴穂

いのうえ すずほ



趣味 映画鑑賞

特技 柔道

受付は岡部病院の顔となるため、来院された患者さまに笑顔で対応します。少しでも不安を減らせるよう、患者さまからも職員からも信頼される医療事務員になります。

薬剤師

織田 理沙

おだ りさ



趣味 サッカー観戦

特技 眠ること

岡部病院の一員として自覚を持ち、安全・安心な医療を提供できるよう、日々精進します。よろしくお願いいたします。

言語聴覚士

本園 郁子

もとぞの あやこ



趣味 ミュージカル観劇

特技 どこでもすぐ眠れること

患者さまやご家族さまに信頼されるセラピストになりたいと思っています。日々、しっかり学んでいきます。

介護福祉士

涂 宗揚

と しゅうよう



趣味 バスケットボール

特技 英語

人生の先輩でもある高齢者の方々から多くのことを学ばせてもらい、いつか「ありがとう」と感謝の気持ちを恩返しできるよう成長していきたいです。

医事・クラーク

濱田 そよか

はまだ そよか



趣味 映画鑑賞

特技 どこでも眠れること

患者さまに寄り添うことができるクラークになります。そのために基礎を大切にすること、患者さまと積極的にコミュニケーションを取ることを頑張ります。

医事・クラーク

川村 愛美

かわむら あいみ



趣味 ドライブ、友達と買い物

特技 バスケットボール

自分に出来ることを精一杯行い、優しく親切に接することができるクラークを目指します。明るい笑顔で元気に頑張ります。

医事・クラーク

本間 千晴

ほんま ちはる



趣味 映画

特技 スキー

岡部病院の一員として、いち早く力になれるよう努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記



COVID-19 感染症禍において、世界は一変してしまいましたが、岡部病院は勇敢にCOVID-19 感染症と闘っています。この事象は、頭目として誇らしげに思います。しかしながら、46億年の地球の歴史の中で、人類誕生以来、人々が初めて手に入れたであろう「たった半世紀あまりの自由と民主主義の理念と実践」は、脆くも先の二つの大きな世界大戦に凝りもせず、この度も「暴力」によって踏み躪られようとしています。この現実を目の当たりにすると「哀しくて、息苦しくて、残念だ」と思います。私事ながら、古希を目前に控え「唯々、平穏に、静かに、冥土に向かいつつ」日々の診療を職員に支えられながら頑張ってきたので尚更です。今後は、かような「ひとり夢に耽らず」職員と最期の日まで闘いを挑む覚悟です。患者様、地域の方々、関係者の皆様方から、岡部病院へ、今後、尚一層のご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長・総院長 **岡部 廣直**

診療科目

- 内科
- 麻酔科
- ペインクリニック内科
- 疼痛緩和内科
- 整形外科
- リハビリテーション科
- 肝臓・消化器内科
- 循環器内科
- 呼吸器内科
- 糖尿病・代謝内科
- 感染症内科
- 腎臓・人工透析内科
- 泌尿器科
- 心療内科
- 放射線科
- 臨床検査科

当院の理念

- 安心・安全・納得の医療を提供し、医療の質向上に努めます。
- 患者様やご家族との信頼関係を深め、患者様志向の医療を提供します。
- 社会性のある公正な医療を提供します。

当院の基本方針

- 組織的、科学的根拠に基づいた効率的で良質な医療を提供します。
- 安心・安全・納得の医療を実現すべく、わかりやすい説明をします。
- 差別なく、緊急性、必要性に応じた的確な医療を提供します。
- 安全管理・確保、環境保護に努め、医療経営の成果を地域社会等に還元します。

患者さまの権利

- 患者さまは、プライバシーを守られ、尊厳をもって扱われる権利を持っています。
- 患者さまは、病名や治療方針について十分な説明を受けることができます。
- 患者さまは、病状の説明を理解した上で希望にそった最適な治療を受けることができます。
- 患者さまは、医療費の明細や公的援助について情報を得ることができます。
- 患者さまは、保健・医療・福祉について相談することができます。



医療法人社団 廣徳会

岡部病院

〒811-2122 福岡県糟屋郡宇美町明神坂1-2-1

092-932-0025

<http://www.okabe-hospital.or.jp>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	●	●	●	●	●	●	●
14:30~18:00	●	●	●	●	●	—	—

休診日／祝日 ※急患は24時間受付いたします
(土・日曜も通常診療)